



世界文化遺産
長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

ガイドマップ

2 3

ひらど せいち しゅうらく
平戸の聖地と集落
かすがしゅうらく やすまんだけ なかえのしま
(春日集落と安満岳・中江ノ島)

Kasuga Village and Sacred Places in Hirado
(Kasuga Village, Mt. Yasumandake and Nakaenoshima Island)

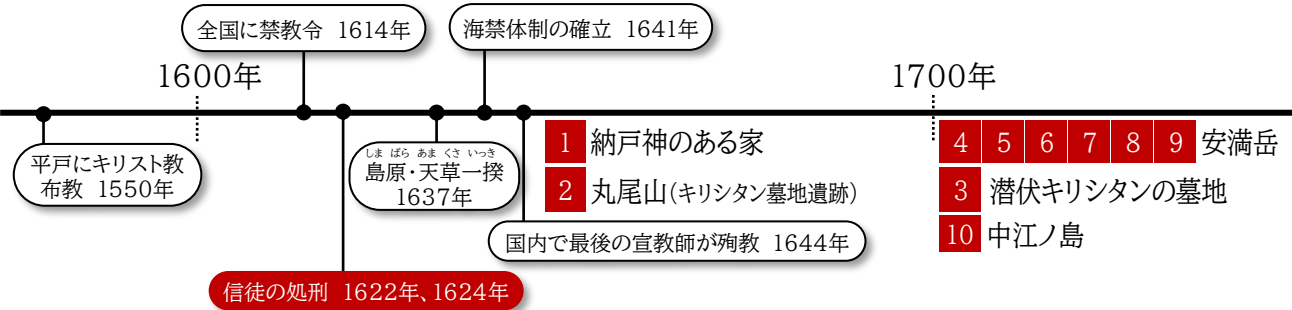


平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳) | の価値

平戸の聖地と集落(中江ノ島) | の価値

I 宣教師不在と キリシタン「潜伏」のきっかけ

II 潜伏キリシタンが信仰を 実践するための試み



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」全体の価値における位置づけ

- ◎ 「平戸の聖地と集落」は、潜伏キリシタンが何を拝みながら信仰を実践したのかを示す4つの集落のうちの一つです。
- ◎ キリスト教が伝わる以前から信仰された山やキリシタンが殉教した島を拝むことによって信仰を実践した集落です。

《基本情報》

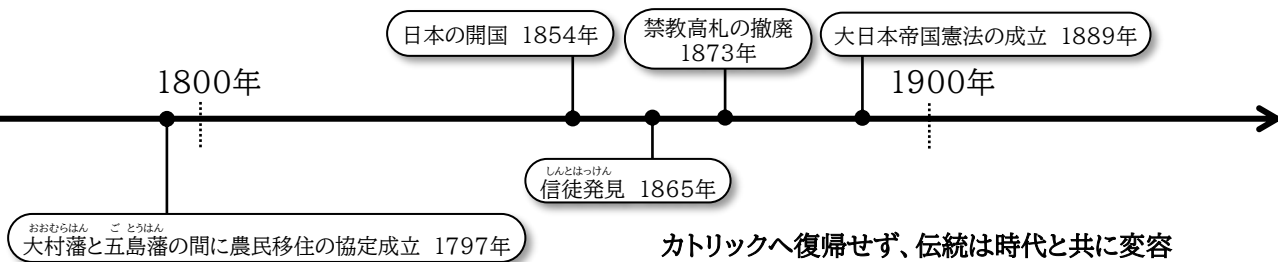
文化財の名称	平戸島の文化的景観
種別	重要文化的景観
指定年	2010年
所在地	平戸市

資産内の 見学マナー

- 資産内では生活が営まれています。住民のプライバシーを考え、マナーを守って散策してください。
- ゴミ箱を設置しておりませんので、ゴミはお持ち帰りください。
 - 道路を歩く場合は、広がらず、必ず路側帯を歩いてください。
 - 喫煙は所定の場所をお願いします。歩きながらの喫煙やたばこのポイ捨てなどはお止めください。
 - 個人の敷地や田畑に入ったり、家の中を覗いたり、無断で戸を開けたりするのは絶対にお止めください。
 - トイレは所定の場所をお願いします。

Ⅲ 潜伏キリシタンが共同体を維持するための試み

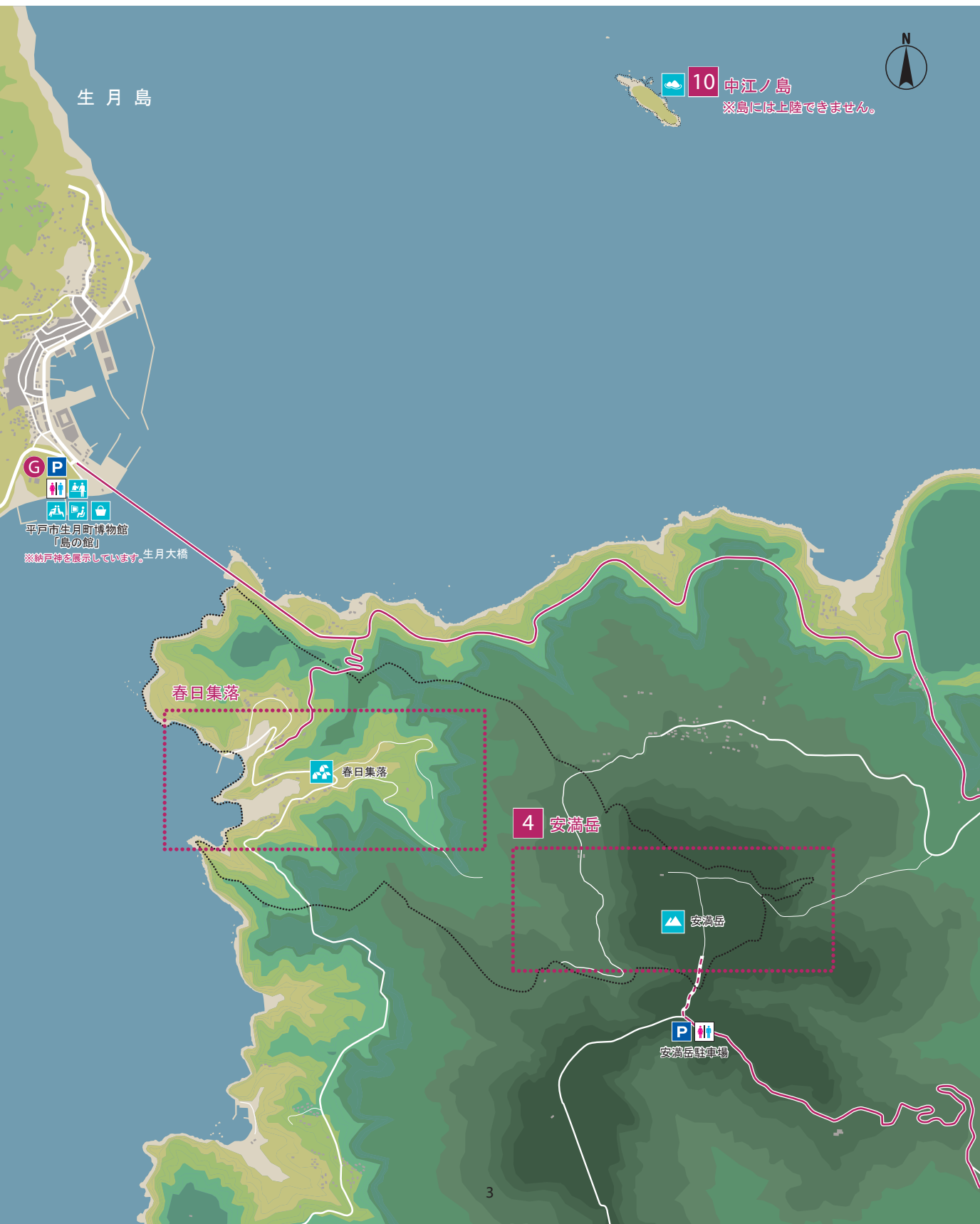
Ⅳ 宣教師との接触による転機と「潜伏」の終わり



歴史

- ◎ 平戸島西海岸にある春日集落は、平戸島の領主松浦氏の有力家臣であった籠手田氏の領地でした。平戸には1550年にザビエルによってキリスト教が伝えられ、籠手田氏が改宗したことから春日集落にもキリスト教が広まり、キリシタンの共同体が設立されました。
- ◎ 集落の中心に位置する丸尾山^{まるおやま} **2**には、発掘調査でキリシタンの墓が確認されていることから、十字架が設置されていたと考えられます。
- ◎ 春日集落では、禁教期に入っても指導者を中心に共同体が維持され、ひそかに信仰が続けられました **3**。
- ◎ 仏教や神道を受け入れながら、納戸^{なんど}とよばれる部屋にキリシタン信仰の信心具^{しんじんぐ}が秘匿され、これらは「納戸神」と呼ばれました **1**。
- ◎ また、禁教初期にキリシタンが処刑された中江ノ島^{なかえのしま} **10**を殉教地として拝み、洗礼などを行う聖水を採取する場としていました。
- ◎ さらに、キリシタン信仰に基づく中江ノ島や納戸神に加え、キリスト教が伝わる以前から山岳信仰の場とされてきた安満岳^{やすまんだけ} **4**も併せて拝みました。
- ◎ 禁教期から伝わる「神寄せのオラシヨ」の中にも「安満岳様」と唱えられることから、安満岳も潜伏キリシタンにとって重要な存在であったことがわかります。
- ◎ このように、禁教期の春日集落の潜伏キリシタンは、山や島を拝むことによって信仰を実践しました。
- ◎ 春日集落は、「信徒発見」後に宣教師と接触した後もカトリックには復帰せず、その後も禁教期の信仰を実践しましたが、次第に失われ、現在では組織的な信仰は消滅しています。

| 平戸の聖地と集落 | の広域マップ



生月島



10

中江ノ島

※島には上陸できません。



平戸市生月町博物館
「島の館」
※納戸神を展示しています。生月大橋

春日集落

春日集落

4 安満岳

安満岳

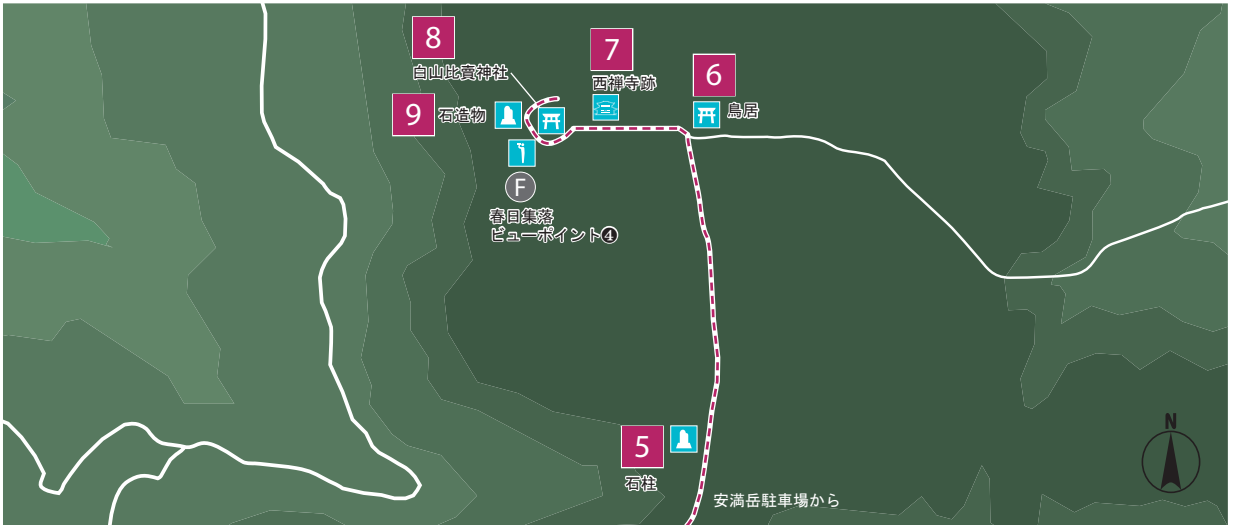
安満岳駐車場

| 平戸の聖地と集落 | の拡大マップ

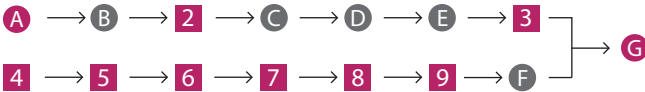
春日集落



4 安満岳



《推奨ルート》



..... 構成資産範囲	A 情報発信拠点施設	👤 ガイド・案内所	🏠 集落	👁️ ビューポイント	🪦 墓地、墓碑
----- 徒歩で移動	Ⓐ その他のポイント	🛖 休憩所	🏔️ 山	🏯 神社	🪦 墓地跡、墓碑跡
——— 徒歩または 自動車等で移動	P 駐車場	📄 展示	🏝️ 島	🗿 寺跡	🗿 碑(モニュメント)等
0 重要ポイント	🚻 トイレ	🛍️ ショップ			

平戸の聖地と集落 | の重要ポイント案内

1 なんどがみ いえ 納戸神のある家

※納戸神については、春日集落案内拠点施設「かたりな」^Aと平戸市生月町博物館「島の館」^Cに展示しています。



オテンベンシヤ



禁教期の春日集落では、家屋の奥まった納戸という部屋に、納戸神と呼ばれるご神体(キリスト教由来の信心具)をまつていました。このようなご神体は、16世紀に宣教師を通じて春日集落に伝わり、禁教期には行事の際に祭具として用いられたほか、ひそかな祈りの対象として継承されました。

2 まるおやま ぼちいせき 丸尾山(キリシタン墓地遺跡)



16世紀のイエズス会宣教師の報告によると、春日集落には教会堂や十字架があったとされています。集落を見下ろす丸尾山では、発掘調査により、キリシタンの墓地遺構と考えられる複数の穴が確認されています。立地や他地区との比較から、この場所に宣教師の報告に記された十字架があったと考えられています。

3

せんぶく ぼち どうやまい せき 潜伏キリシタンの墓地(堂山遺跡)



この祠の周辺に墓地が埋まっています。

この場所では発掘調査により、禁教初期頃の潜伏キリシタンの墓地が発見されています。直径20～30cm程度の石を長方形に組み合わせたもので、近隣の集落で発掘されたキリシタン墓地と同じような形態となっています。墓地の奥には、春日集落の人たちによって「稲荷様」と呼ばれる石祠がまつられています。

4

やすま だけ 安満岳



安満岳には神社や寺跡、多くの石造物があり、古来より神道や仏教の信仰の対象とされていたことがわかります。この地域の潜伏キリシタンは、祈りの場である教会堂がない中、キリシタン信仰に由来する殉教地のほか、古来より信仰してきた安満岳などを併せて崇敬しました。彼らに伝わる「神寄せのオラシヨ」の中でも「安満岳様」と唱えられました。

5

せきちゅう 石柱



この石柱は、江戸時代の絵図にも描かれており、山頂部の自然林への入口を示すものとして古くから存在しています。

6

とりい 鳥居



この鳥居は、安満岳の頂上部に至る石畳の参道入口に建てられたものです。安満岳山頂周辺には、神社、寺跡などがあり、これらは17世紀の絵図にも描かれています。

7 やすまんだけ さいぜんじあと 安満岳(西禅寺跡)



①

西禅寺は、白山比賣神社の安満岳への勧請に併せて、8世紀初め頃に山頂に創建された寺院です。明治期に廃寺となりましたが、現在も境内には建物の礎石のほか、池や石造物などの遺構が残されています。16世紀のイエズス会宣教師の報告によると、当時、西禅寺を中心とする山岳仏教勢力が宣教師らと敵対していたとされます。

8 やすまんだけ しらやまひめじんじゃ 安満岳(白山比賣神社)

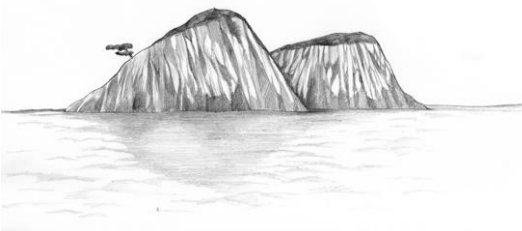


白山比賣神社は、718年に山岳信仰の拠点であった加賀の白山宮から安満岳へ勧請したとされ、白山権現とも呼ばれます。現在の社殿は、近代に建て替えられたものですが、鳥居や礎石は禁教期のまま残されています。春と秋には大祭が行われています。

9 やすまんだけ せきぞうぶつ 安満岳(石造物)



安満岳山頂の石造物の中には、春日集落の潜伏キリシタンが「キリシタン祠」と呼んでいた石祠があります。潜伏キリシタンは、キリシタン信仰に併せて、神道や仏教を信仰しており、安満岳はその信仰形態をよく表しているといえます。



※イラストはイメージです

10 なかえのしま 中江ノ島

※足元が滑りやすく、大変危険なため上陸することはできません。



中江ノ島は、平戸の信者にとって岩からしみ出す水を採取し、聖水とする「お水取り」を行う大切な場所です。中江ノ島で聖水を取ることは、主に生月の信者によって行われましたが、春日集落からも中江ノ島に対する信仰がありました。

たびらてんしゅうどう 田平天主堂

平戸島対岸の田平地区にある教会堂で、鉄川與助^{てつかわよすけ}の設計・施工により建設され、1918年に献堂式が行われました。内部は三廊式平面で、身廊、側廊にそれぞれ独立した屋根がかかり、正面中央に八角形のドーム型の屋根を備えた鐘塔を持ちます。天井はリブヴォールト天井。主構造の煉瓦^{れんが}は英国式に積まれており、装飾的な煉瓦壁が意匠の特徴です。

《基本情報》

文化財の名称	田平天主堂
種別	重要文化財
指定年	2003年
所在地	平戸市田平町



教会堂の拝観マナー

教会堂は大切な祈りの場ですので、見学マナーを守り、厳粛な雰囲気の中で心静かにお過ごしてください。

- 堂内では帽子を脱ぎ、静かに拝観してください。
- 堂内にある物にはふれないでください。
- 柵内、内陣(祭壇域)には入らないでください。
- 堂内での飲食、飲酒、喫煙は厳禁です。 ● 堂内の写真撮影は禁止です。
- 教会行事(ミサや冠婚葬祭など)が行われているときは入堂をご遠慮ください。
- 教会堂見学に対する感謝の気持ちは、教会堂保存のための寄付として設置してある献金箱をお願いします。



教会堂 見学の 事前連絡

教会行事により見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もありますので、見学を希望される際は、事前に各受付窓口のホームページからご連絡をお願いします。

**長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター
(長崎の教会群インフォメーションセンター)**

〒850-0862 長崎市出島町1-1-205(出島ワーフ2階)
TEL.095-823-7650 ©受付時間 | 9:30~17:30

<http://kyoukaigun.jp>

キリシタン遺産 インフォメーション

検索



| 平戸の聖地と集落 | のその他のポイント案内

A かがしゅうらくあんないきよてんしせつ 春日集落案内拠点施設「かたりな」

※納戸神(複製品)を展示しています。



空家を改修した案内所で、パンフレットや映像のほか、春日集落で継承されてきた納戸神(レプリカ)の展示などを行っています。春日集落を散策する前にぜひご利用ください。

- 所在地/平戸市春日町166-1 Tel:0950-22-7020
- 営業時間/8:30~17:30
- 休館日/12月31日~1月3日
- 入場料金/無料

B かがしゅうらく 春日集落ビューポイント①



ここから春日集落が一望できます。

C かがしゅうらく 春日集落ビューポイント②



ここから春日集落の棚田が一望できます。

D かがしゅうらく 春日集落ビューポイント③



ここから安満岳や人形岩が望めます。

さんかい ぼんらい ひ
B 三界万霊碑



春日集落に、潜伏キリシタンがいけないことを示す証として、禁教期である1761年に建てられました。平戸市内のほかの潜伏キリシタン集落にも、必ずひとつ建てられています。



かすがしゅうらく
F 春日集落ビューポイント④



神社の横を通った先から、平戸島西海岸地域を望むことができます。麓に広がる棚田一帯が春日集落であり、生月大橋や生月島のほか、天気が良ければ五島列島を一望できます。



ひらどし いきつきちやう ほんぶつかん しま やかた
G 平戸市生月町博物館「島の館」
※納戸神を展示しています。



江戸時代に日本最大規模を誇った益富捕鯨の展示をはじめ、かくれキリシタンの信仰、豊かな自然の中で営まれてきた漁業の姿を紹介しています。

- 所在地／平戸市生月町南免4289-1 Tel:0950-53-3000
- 営業時間／9:00～17:00(最終入場16:30)
- 休館日／1月1日、2日
- 入場料金／一般520円(470円)、高校生310円(280円)、小・中学生210円(190円)
※カッコ内は15人以上の団体料金
- URL／<http://www.hira-shin.jp/shimanoyakata/>

12の構成資産

1600

- 日本にキリスト教が伝来 1549年
- 全国に禁教令 1614年
- 島原・天草一揆 1637年
- 海禁体制 1641年
- 国内で最後の宣教師が殉教 1644年

1700

1800

- 大村藩と五島藩の間に農民移住の協定成立 1797年

1900

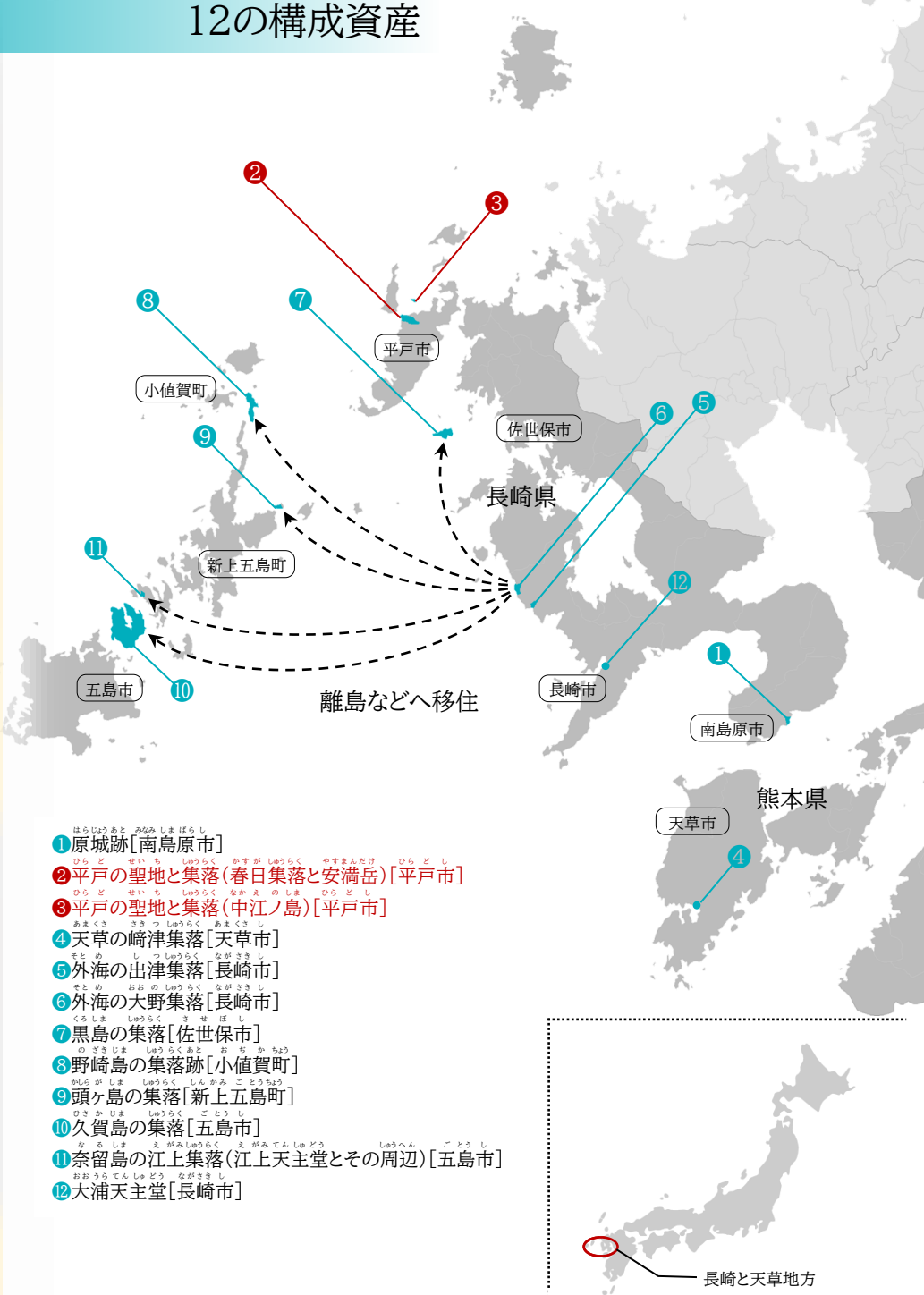
- 日本の開国 1854年
- 信徒発見 1865年
- 禁教高札撤廃 1873年
- 大日本帝国憲法成立 1889年

I 宣教師不在とキリシタン「潜伏」のきっかけ

II 潜伏キリシタンが信仰を实践するための試み

III 潜伏キリシタンが共同体を維持するための試み

IV 宣教師との接触による転機と「潜伏」の終わり



- 1 原城跡[南島原市]
- 2 平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)[平戸市]
- 3 平戸の聖地と集落(中江ノ島)[平戸市]
- 4 天草の崎津集落[天草市]
- 5 外海の出津集落[長崎市]
- 6 外海の大野集落[長崎市]
- 7 黒島の集落[佐世保市]
- 8 野崎島の集落跡[小値賀町]
- 9 頭ヶ島の集落[新上五島町]
- 10 久賀島の集落[五島市]
- 11 奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)[五島市]
- 12 大浦天主堂[長崎市]

「平戸の聖地と集落」に関するお問い合わせ
 平戸市 文化観光商工部 文化交流課
 〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508-3 TEL:0950-22-4111
 [HP]https://www.city.hirado.nagasaki.jp/
 [MAIL]sekaiisan@city.hirado.lg.jp

企画・発行／長崎県、熊本県、長崎市、佐世保市、平戸市、五島市、南島原市、小値賀町、新上五島町、天草市



潜伏キリシタン遺産 検索 <https://kirishitan.jp>

撮影協力／①池田 勉、④日暮 雄一
 2023年3月発行



長崎と天草地方の
 潜伏キリシタン関連遺産
 世界遺産登録年:2018年